

2022 年 JAF 全日本ラリー選手権 第 8 戦  
Japanese Rally Championship Round8

第 49 回 M.C.S.C.  
ラリーハイランドマスターズ 2022

# 特別規則書

組織許可番号 : No.2022-1121

JAF 公認 国内競技

開催期間 : 2022 年 10 月 14 日(金)~16 日(日)  
主 催 : 松本カースポーツクラブ  
協 力 : JMRC 関東地域クラブ協議会長野県支部

第1条	プログラム	1
第2条	競技会の名称	1
第3条	競技格式	1
第4条	競技種目	1
第5条	開催日程及び開催場所	2
第6条	競技会本部(HQ)及び、サービスパーク	2
第7条	コース概要	2
第8条	オーガナイザー	2
第9条	組織	2
第10条	参加申込受付期間	3
第11条	参加申込及び問い合わせ先(大会事務局)	3
第12条	保険	4
第13条	参加台数及び参加受理	4
第14条	参加料の返還	4
第15条	音量規制	4
第16条	レッキの実施方法	4
第17条	参加確認	4
第18条	公式車両検査	5
第19条	タイヤ	5
第20条	セレモニアルスタート／フィニッシュ	5
第21条	タイムコントロール	5
第22条	スペシャルステージ	6
第23条	整備作業	6
第24条	賞典	6
第25条	リスタート	6
第26条	選手権外併設クラス	6
第27条	参加者の遵守事項及び注意事項	7
第28条	オフィシャルの識別	7
第29条	新型コロナウイルス感染症対策について	7
第30条	その他	7
細則1	- アイテナリー	8
細則2	- レッキのスケジュール	9
細則3	- CRO	9
細則4	- HQレイアウト, サービスパークのレイアウト等	10
細則5	- 信号灯によるスタート手順	11
細則6	- ゼッケンの貼付場所	11
細則7	- スーパースペシャルステージ	12
細則8	- フレキシ・サービス	12

## 公示

2022 年 JAF 全日本ラリー選手権第 8 戦「第 49 回 M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ 2022」は、一般社団法人日本自動車連盟(以下「JAF」という)の公認のもとに FIA 国際モータースポーツ競技規則及びその付則に準拠した日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則及びその細則、2022 年日本ラリー選手権規定、2022 年全日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定及び本競技会特別規則に従い国内競技として開催される。

## 第1条 プログラム

9 月 05 日(月)	10:00	～	参加申込の開始日時	大会事務局
9 月 18 日(日)		～ 19:00	参加申込の締切日時	大会事務局
10 月 14 日(金)	6:45	～ 20:45	ラリーHQ の開設時間	
10 月 14 日(金)	7:00		サービスパークオープン	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 14 日(金)	7:00	～ 7:30	レッキ受付/ロードブック発行	HQ
10 月 14 日(金)	7:00	～ 16:00	レッキ	
10 月 14 日(金)	7:30	～ 15:00	サービス受付	HQ
10 月 14 日(金)	7:30	～ 15:00	メディア受付	HQ
10 月 14 日(金)	15:00	～	メディアブリーフィング	HQ
10 月 14 日(金)	15:30	～ 17:00	参加確認/書類検査	HQ
10 月 14 日(金)	15:30	～ 20:00	公式車両検査	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 14 日(金)	18:30	～	第 1 回審査委員会	ロッジ分水嶺
10 月 14 日(金)	20:30		LEG1 スタートリスト公示	公式掲示板(HQ)
10 月 15 日(土)	7:45	～ 19:10	ラリーHQ の開設時間	
10 月 15 日(土)	8:00		サービスパークオープン	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 15 日(土)	9:00	～	LEG1 スタート	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 15 日(土)	9:20	～	セレモニアルスタート	ひだ舟山スノーリゾートアルコピア
10 月 15 日(土)	17:00		リスタート申請締切	HQ
10 月 15 日(土)	18:00		LEG2 スタートリスト公示	公式掲示板(HQ)
10 月 15 日(土)		19:00	サービスパーククローズ	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 16 日(日)	6:00	～ 16:45	ラリーHQ の開設時間	
10 月 16 日(日)	6:00		サービスパークオープン	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 16 日(日)	6:00	～ 6:30	リスタート車両検査	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 16 日(日)	7:00	～	LEG2 スタート	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 16 日(日)	14:50	～ (予定)	再車両検査	モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
10 月 16 日(日)	16:00	(予定)	暫定結果発表	公式掲示板(HQ)

※参加確認は、定められた時間内に、参加者、ドライバー及びコ・ドライバーは、それぞれ本人が下記の書類を提示すること。

代理は認められない。

- ・ドライバー及びコ・ドライバーの自動車運転免許証
- ・ドライバー及びコ・ドライバーの競技者許可証
- ・競技参加者許可証

※表彰式は行わない。賞典対象者は各自 HQ にて賞典を受け取る。

受け取りに来ず、受け取りを希望する場合、着払いにて送付する。

※サービスエリアへの入場後、速やかにサービス受付を行うこと。

## 第2条 競技会の名称

2022 年 JAF 全日本ラリー選手権 第 8 戦  
第 49 回 M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ 2022

## 第3条 競技格式

JAF 公認:国内競技 JAF 公認番号 2022 年 1121 号

## 第4条 競技種目

ラリー競技開催規定の細則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

## 第5条 開催日程及び開催場所

2022年10月14日(金)～10月16日(日)の3日間

岐阜県高山市周辺

ラリースタート 岐阜県高山市一之宮町 モンデウス飛騨位山

ラリーフィニッシュ 岐阜県高山市一之宮町 モンデウス飛騨位山

## 第6条 競技会本部(HQ)及び、サービスパーク

所在地：岐阜県高山市一之宮町 7846-1

名称：モンデウス飛騨位山 ロッジ分水嶺

電話番号：090-3558-5384

開設日時：10月14日(金) 6:45 ～ 20:45

10月15日(土) 7:45 ～ 17:45

10月16日(日) 6:00 ～ 16:45

レイアウト図は、細則に記載する。

## 第7条 コース概要

### 1) スペシャルステージの概要

(1) 路面 : 舗装(ターマック)

(2) 距離 : 65.50 km

(3) スペシャルステージの数 : 12

(4) セクションの数 : 4

(5) LEGの数 : 2

2) 総走行距離 : 374.26 km

## 第8条 オーガナイザー

名称：松本カースポーツクラブ(略称 M.C.S.C.)

所在地：〒399-8203 長野県安曇野市豊科田沢 6468

代表者：池田 徹矢

URL：<https://mcsc-rally.net/>

## 第9条 組織

### 1) 大会役員

大会名誉会長 田中 明 (高山市長)

### 2) 組織委員会

組織委員長 三木 彰

組織委員 今井 徹 中田 和良

### 3) 競技会主要役員

#### (1) 競技会審査委員会

全日本選手権審査委員長 中野 次郎(JAF 派遣)

全日本選手権審査委員 河野 功(JAF 派遣)

全日本選手権審査委員 小口 貴久(組織委員会任命)

#### (2) 競技役員

競技長 池田 徹矢

副競技長 後藤 茂行

競技長補佐 吉澤 慎司

コース委員長 三木 彰

副コース委員長 瀬上 登蔵

計時委員長 永井 真

技術委員長 並木 衛

救急委員長 高橋 浩子

医師団長 橋本 芳正

事務局長 山本 博文

事務局 森山 能義 石城 健司

#### (3) コンペティターズリレーションズオフィサー(CRO)

CRO 丸山 尚人

#### (4) オブザーバー

田畑 邦博(JAF 派遣)

船越 潤(JAF 派遣)

## 第10条 参加申込受付期間

受付開始:2022年9月05日(月) 10:00

受付締切:2022年9月18日(日) 19:00

※参加申込の取消は、郵送、ファックス、電話等、手段は問わないが、大会事務局との相互の連絡を確実に行うこと。

振込締切:2022年9月30日(金) 15:00

## 第11条 参加申込及び問い合わせ先(大会事務局)

参加申込はオーガナイザー所定の以下の提出書類((10)~(12)以外)に必要な事項を記入し、申込期間中に大会事務局に電子メールにて送付すること。

### 1) 参加申込先

〒399-8203 長野県安曇野市豊科田沢 6468

M.C.S.C. ラリーハイランドマスターズ大会事務局宛

TEL0263-87-9006 FAX 0263-87-9008

E-mail: [entry@mcsc-rally.net](mailto:entry@mcsc-rally.net)

### 2) 問い合わせ先

#### 大会事務局(全日本選手権・選手権外)

〒399-8203 長野県安曇野市豊科田沢 6468

TEL0263-87-9006 FAX 0263-87-9008 担当者: 森山 能義

※22:00以降の問い合わせは FAX または e-mail のみとする。

E-mail : [office@mcsc-rally.net](mailto:office@mcsc-rally.net)

URL : <https://mcsc-rally.net/>

#### 参加受理後の問い合わせ事務局

岐阜県高山市丹生川町坊方 1219-1

ENEOS(新日本石油) (有)てづな石油

TEL0577-78-1566 FAX 0577-78-1150 担当者: 三木 彰

※8:00~18:40

### 3) 提出書類, データ

#### (1) 参加申込書書

#### (2) 車両申告書(マフラーに関する資料(マフラーの写真)を含む)

#### (3) サービス申込書

#### (4) 車載カメラ使用申請書(車載カメラを使用する場合)

#### (5) 振込明細書(振込明細票または振込領収書等を添付)

#### (6) ドライバー及びコ・ドライバーのライセンス並びに運転免許証の写し

#### (7) 自動車検査証の写し

#### (8) 自動車損害賠償責任保険証の写し

#### (9) 第12条に関する対人賠償保険, 対物賠償保険及び搭乗者保険(共済)の写し

#### (10) 誓約書(署名無しで申込時に送付し、参加確認受付時に原本を提出すること)

#### (11) レッキ申込書(署名無しで申込時に送付し、レッキ受付時に原本を提出すること)

#### (12) 新型コロナウイルス感染防止のための問診票

(ドライバー, コ・ドライバー, サービス員全員分をレッキ受付時やサービス受付時に提出のこと)

#### (13) 画像データ(ドライバー, コ・ドライバー)

・添付画像ファイル形式及びサイズ; JPEG 形式、1枚合計で600Kbyte以内

・画像ファイル名には、ドライバー, コ・ドライバーの氏名を入れること

### 4) 競技参加料

#### (1) 参加料

**選手権クラス** 150,000円 /1台(レッキ参加料, サービススペース2区画を含む)

ただし、2022年1月1日時点で30歳未満、かつ、2017年度以降に全日本ラリー選手権にて6位以内の入賞経験のないドライバーは90,000円/1台とする。

※1区画=約2.5m×5.0m

#### (2) サービス登録料

サービスカー登録料 10,000円 /2区画

サービススペース追加料 5,000円 /1区画

サービス員登録料 2,000円 /1名

※サービスカー, サービスエリアの追加を希望する場合、申込時に申し出ること。

※サービスパークにてサービス行為を行う者は全員サービス登録を行うこと。

※参加申込の状況により、サービスエリアを制限する場合がある。

※サービス登録に関する抗議は受け付けない。

#### 5) 参加申込要領

- (1) 参加申し込みは指定の用紙に必要事項を記入し、参加受付期間中にメールで大会事務局まで申し込むこと(やむを得ない場合は郵送またはFAXも可)。
- (2) 参加料については、銀行振込とする。なお、振込手数料は申込者の負担とする。  
また、振込名義を振込明細書に確実に記入するとともに、振込名義が参加者と異なる場合は、振込元の銀行の発行する振込明細票または振込領収書の写しを必ず添付すること。
- (3) 参加者・サービス員等の宿泊は、参加料に含まれない。各自申し込み、精算等を行うこと。
- (4) サービス員の登録申請についても(1)と同時にすること。

#### 6) 参加料振込先

八十二銀行 松本営業部  
普通口座 1377669  
口座名義 松本カースポーツクラブ

#### 第12条 保険

2022年日本ラリー選手権規定第17条に基づき、ラリー競技に有効な対人賠償保険(1,000万円以上)及び対物保険(500万円以上)ならびに搭乗者保険または共済等(1,000万円以上)に加入していること。  
また、オーガナイザーが用意する保険に加入する場合は、事務局に問い合わせること。

#### 第13条 参加台数及び参加受理

- 1) 総参加台数90台までとする。なお、参加受理は選手権出場者を優先とする。
- 2) 参加受理は「第49回 M.C.S.C.ラリーハイランドマスタース 2022」の公式ウェブサイト公告され、エントリーリストにより発表される。

#### 第14条 参加料の返還

- 1) 大会組織委員会は、国内競技規則4-19に従い、理由を示すことなく参加を拒否する権限を有する。この場合、事務手数料2,000円を差し引き参加料は返還される。
- 2) 正式受理後の参加料は、オーガナイザーの都合で競技会を中止した場合を除き、返金されない。ただし、ラリー開催14日前以降に大規模な災害や新型コロナウイルスによる移動制限により大会を中止せざるを得ない場合は、参加費の15%を差し引き返還される。
- 3) 参加者が自身の責任以外の不可抗力により出走できなくなった場合は、参加費の50%を差し引き返還される。

#### 第15条 音量規制

本競技会に使用できるマフラーは、保安基準適合品であること。また、平成22年4月以降に製作された車両については、そのマフラーが保安基準適合品であることを証明できる資料を車両申告書に添えて提出し、また常時携行すること。

#### 第16条 レッキの実施方法

- 1) 10月14日(金)にオーガナイザーによるコントロールの下、出場クルーを対象に行われる。
- 2) レッキのタイムスケジュール、実施の詳細はコミュニケーションで示す。
- 3) レッキ参加車両は各自で用意した車両(競技会参加車両を含む)を使用すること。
- 4) 実施方法・ルート
  - (1) スペシャルステージのスタートのオフィシャルによって、チェックを受けなければならない。
  - (2) 各クルーは、各スペシャルステージを2回走行できる。ただし同じ区間を重複使用するスペシャルステージは1カ所まで2回の走行とする。
- 5) 遵守事項
  - (1) レッキの間、競技参加者は交通法規を遵守し、いかなる場合にも他の道路使用者の安全と権利を尊重しなければならない。
  - (2) レッキ参加に関して、遵守事項、賠償事項等について誓約を必要とする。
- 6) 報告
  - (1) レッキ中のいかなる違反も競技会審査委員会に報告される。

#### 第17条 参加確認

- 1) 参加日程  
10月14日(金) 15:30 ~ 17:00 参加確認/書類検査 HQ
- 2) 必要(提出)書類
  - (1) ドライバー、コ・ドライバーの本ラリーに有効な競技ライセンス及び運転免許証  
※ドライバー、コ・ドライバーは日本で運転するため有効な運転免許証が必要

- (2) エントラントライセンス(クルーと参加者名が異なる場合)
- (3) ASN 発行の競技参加者証(海外ライセンス保持者)
- (4) 車検証, 自賠責保険証, ラリー競技に有効な保険証  
(臨時運行表示板を使用する参加者は臨時運行標示板使用許可証を提示すること)
- (5) 署名された誓約書等の原本(第 11 条 3), (10)に示す書類及びその他指定されたもの)
- (6) 新型コロナウイルス感染防止のための問診票(第 11 条 3), (12)に示す書類)

#### 第18条 公式車両検査

- 1) 場所  
モンデウス飛騨位山スキー場駐車場
- 2) 検査項目  
『ラリー競技開催規定細則 スペシャルステージ開催規定第 10 条』に準じた車両検査。
- 3) リストリクターは、封印可能な状態もしくは封印された状態で公式車両検査を受けること。  
なお、ターボチャージャーのシーリングについては、同時に行われる。
- 4) 公式車両検査以降に前部霧灯の装着を希望するクルーは、公式車検時にその旨を競技会技術委員長に事前申告すること。
- 5) 技術委員が要求する各部の操作、分解、組み立ては、原則として参加者の用意する人員、工具、部品、費用で行うこととする。
- 6) 規定の時間内に車検に合格しない競技車両は、例外なくスタートできない。但し、競技会審査委員会が修復時間を与える場合がある。
- 7) 6)において、修復時間内に修復し、再車検に合格した場合はスタートすることができる。
- 8) 車載カメラを取り付ける場合は、参加申込時に車載カメラ使用申請書を提出すること。また、カメラの取り付けが車体の中側、外側を問わず公式車両検査までに取り付けられていなければならない。  
公式車検時に技術委員により許可ステッカーが貼付けされ、許可を受けていない場合の撮影は禁止する。なお、このカメラで撮影された映像の著作権はオーガナイザーに帰属し、オーガナイザーに画像の提出を求められることがある。

#### 第19条 タイヤ

- 1) 本競技会で使用できるタイヤの本数は 10 本までとする。
- 2) FIA 公認タイヤについて、全日本選手権についてはその使用は認められない。  
ただし、FIA 公認タイヤのうち、JATMA YEAR BOOK に記載されているもの、またはこれと同等なものであり、かつ公道走行が認められているタイヤについては使用することができる。  
なお、2022 年全日本ラリー選手権統一規則第 2 条によりFIA国際モータースポーツ競技規則付則 J 項に準拠することが定められた車両については、当該年の FIA レジヨナルラリー競技規則付則 V に規定されるFIA公認タイヤを使用すること。
- 3) 本競技会参加車両は、下記事項を満たしたタイヤを使用すること。  
ただし、下記(1)による縦溝のみを有したタイヤ及びスノータイヤ(「M+S」, 「M・S」, 「M&S」の表示があるタイヤ)の使用は認められない。
  - (1) タイヤ接地面にタイヤを 1 周する連続した複数の縦溝を有していること。
  - (2) 当該縦溝はトレッドウェアインジケータ(スリップサイン)が出るまで維持されていること。
- 4) 本競技会では、使用する全てのタイヤのサイドウォールに競技車両番号をマーキングする。併せてスペアタイヤについては、トレッド面にもマーキングを施すものとする。  
なお、当該競技会中における未使用のタイヤについては、技術委員長の許可を得ることにより、新たにマーキングされた他のタイヤへの交換が許される。
- 5) 各クルーは、マーキングを保持する義務を負う。
- 6) ラリー中、任意の地点でマーキングのチェックを行う場合がある。

#### 第20条 セレモニアルスタート／フィニッシュ

- 1) 10 月 15 日(土) ひだ舟山スノーリゾートアルコピアにてセレモニアルスタートを行う。
- 2) TC0 通過後、通過順にセレモニアルスタート場所よりスタートする。
- 3) 10 月 16 日(日) モンデウス飛騨位山の最終 TC 後にセレモニアルフィニッシュを行う。

#### 第21条 タイムコントロール

- 1) 公式時刻は、日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。
- 2) 以下のタイムコントロールについては、早着によるタイムペナルティーを与えない。  
LEG1:TC3A, 3B, 3C, 6A, 6B, 6C 及び LEG2:TC9A, 9B, 9C, 12A, 12B, 12C  
また、TC12C 後は競技役員の指示に従いセレモニアルフィニッシュ又はパルクフェルメに進む事。  
なお、タイムカードには実際のチェックイン時刻を記入する。

## 第22条 スペシャルステージ

- 1) 計測は印字機能を持つクロノメーターにて1/10秒まで計測する。
- 2) スタートは、スタートリストまたは直前のTC通過順に1分間隔とする。
- 3) スタートの方法および合図は、ラリー競技開催規定細則:スペシャルステージラリー開催規定25条6.に依り、信号灯を使用して行う(細則5参照)。

## 第23条 整備作業

- 1) 整備作業の監督を担当する競技役員:競技会技術委員長
- 2) 整備作業を行うことができる場所:ロードブックに記載されたサービスエリア
- 3) 登録したサービスカーのみサービスエリアへの入場を許可する。サービスカーはサービスエリア内の自らの割り当てられた区域内または指定された場所に駐車すること。
- 4) 登録したサービス員及び当該車両の乗員のみ整備作業を行うことができる。
- 5) タイヤ交換等のため車両をジャッキアップする場合、作業員の安全確保のため、ジャッキを使用してジャッキアップできる車輪は2輪までとし、4輪同時にジャッキアップする場合は、別途工具等にて行うこと。  
なお、技術委員が危険と判断した場合は作業を中止させる場合がある(事故事例があるので十分に留意すること)。
- 6) 整備の範囲  
2022年全日本ラリー選手権統一規則の第3章第14条に従うこと。
- 7) 整備作業にあたっては、他の交通及び作業員の安全確保に十分留意すること。
- 8) ゴミ等は各自にて必ず持ち帰ること。

## 第24条 賞典

JN-1 クラス	JAF 盾:1~3位 副賞:1~6位
JN-2 クラス	JAF 盾:1~3位 副賞:1~6位
JN-3 クラス	JAF 盾:1~3位 副賞:1~6位
JN-4 クラス	JAF 盾:1~3位 副賞:1~6位
JN-5 クラス	JAF 盾:1~3位 副賞:1~6位
JN-6 クラス	JAF 盾:1~3位 副賞:1~6位

但し、JAFの賞典を除き、各クラスとも参加台数の30%を下回らない範囲で賞典を制限する。  
この場合、賞典内容は公式通知にて示す。

## 第25条 リスタート

- 1) リスタートを希望するクルーは10月15日(土)16:00までにリスタートの意思をHQへ申告すること。
- 2) クルーは、LEG2のリスタート再車両検査前までにリスタート再車検書を技術委員長に提示し、サービスエリアにて再車検を受けること。  
再車検に合格した場合にのみ、再出走が正式に許可される。

## 第26条 選手権外併設クラス

- 1) クラス区分

OP-1	二輪駆動の車両
OP-2	四輪駆動の車両
- 2) 参加車両  
2022年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に従ったR, RJ, RPN, RFまたはAE車両及びFIA公認車両またはJAF登録車両で2002年12月31日以前に運輸支局等に初度登録され、かつ2002年JAF国内競技車両規則第3編ラリー車両規定に従った車両(RB車両)のうち、6点式以上のロールバーを装着した車両とする。
- 3) 参加資格  
本競技会の本クラスへの参加は、2022年全日本ラリー選手権統一規則の第2章第4条の2)から5)を満たすこと。
- 4) 競技参加料
  - (1) 参加料  
選手権外併設クラス 80,000円 /1台(レッキ参加料, サービススペース2区画を含む)  
ただし、2022年1月1日時点で30歳未満のドライバーは50,000円/1台とする。
- 5) 賞典  
各クラス 1位 副賞(但し、参加台数により変更する)
- 6) その他  
上記以外の事項は、本特別規則書第1条から第23条及び第25条、第27条から第30条に従うこと。



## 第27条 参加者の遵守事項及び注意事項

- 1) 競技中はいかなることがあろうとも、道路交通法の遵守を最優先とし、他の交通に迷惑を及ぼさないこと。
- 2) 他車に追従する場合または対向車がある場合は、前照灯の照射方向を適切に変換し、眩惑を生じさせないように留意すること。
- 3) 明らかに追い越そうとしている車両がある場合は、安全かつ速やかに進路を譲ること。
- 4) 登録したクルー以外は乗車してはならない。
- 5) クルーは指示された行程(サービスパークを含む)を正確に維持しなければならない。特にロードセクションにおいてロードブックに記載されたルートから逸脱して走行してはならない。なお、何らかの原因でオーガナイザーが迂回を指示した場合はその迂回ルートに従うこと。
- 6) 競技から離脱した場合は、直ちに最寄りの競技役員に「LEG 離脱届」または、「リタイヤ届」を提出すること。提出が不可能な場合は電話等の手段で競技会事務局に連絡すること。
- 7) 失格またはリタイヤとなった場合は、直ちにゼッケン、ラリー競技会之証及びその他競技関係添付物を取り除くこと。
- 8) 安全ベルトは必ず装着し、スペシャルステージ走行時やオーガナイザーの指示がある場合は、必ずヘルメット及びレーシングスーツを着用すること。
- 9) スペシャルステージ走行時やオーガナイザーの指示がある場合は、必ずサイドウィンドウを閉じて走行すること。
- 10) 競技上のあらゆる規定、オーガナイザーの指示に従い、スポーツマンとして公正な行動をとること。
- 11) 本競技会のための練習走行を禁止すると共に、オーガナイザーにより、明らかにそれと認められた場合、失格を含むペナルティを課される場合があり、道路補修等の責を負うものとする。  
但し、本規則書に記載のレッキ、主催者が認めた試走、テスト走行等は練習走行とはみなさない。

## 第28条 オフィシャルの識別

ポストチーフ及びマーシャルは以下の服装により識別される。

スペシャルステージコマンダー	緑色のタバードに黄色文字
ポストチーフ	青色のタバードに白文字
ポストマーシャル	オレンジ色のタバードに白文字
セーフティーマーシャル	赤色タバードに白色文字
SOS ラジオマーシャル	黄色タバードに黒マーク
メディカル要員	緑色タバードに黒十字
技術役委員	黒色タバードに黄色文字
選手リレーション役員	黄色タバードに黒文字
その他のオフィシャル	クレデンシャル

## 第29条 新型コロナウイルス感染症対策について

大会組織委員会は、新型コロナウイルスに関する最新情報の収集に努め、具体的な対応策を検討し、講じる。参加者、選手、サービススタッフを含め、本大会の関係者についても、新型コロナウイルス感染対策へ協力すること。

## 第30条 その他

- 1) 本特別規則は、本競技会に適用されるもので参加受付と同時に有効となる。
- 2) 本特別規則に記載されていない事項については、JAF 国内競技規則とその細則、及び FIA 国際モータースポーツ競技規則とその細則に準拠する。
- 3) 本特別規則発行後、JAF において決定され公示された事項は、すべての規則に優先する。

第 49 回 M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ 2022 大会組織委員会

細則1 - アイテナリー

最終のアイテナリーの発表は、参加確認受付時に配布する。

(本アイテナリーは 90 台参加の場合で、参加台数により変更の可能性が有る)

LEG1 - Saturday 15 October						
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First Car due
SS	場所	SS距離	リエゾン距離	総移動距離	基準所要時間	先頭車時刻
0	スタート/モンデウス					9:00
0A	セレモニアルスタート/アルコピア		8.69	8.69	0:20	9:20
1	千光寺下		30.12	30.12	0:55	10:15
<b>SS1</b>	<b>千光寺 1</b>	<b>3.02</b>				<b>10:18</b>
	Refuel A(てづな石油)		6.18			
	Totals to Refuel	<b>3.02</b>	[ 44.99 ]	[ 48.01 ]		
2	牛牧下		34.62	37.64	1:10	11:28
<b>SS2</b>	<b>牛牧上り 1</b>	<b>6.15</b>				<b>11:31</b>
3	アルコピア		1.50	7.65	0:15	11:46
<b>SS3</b>	<b>アルコピア-無数河 1</b>	<b>6.05</b>				<b>11:49</b>
3A	モンデウス テクニカルゾーン in		4.75	10.80	0:20	12:09
3B	モンデウス サービス in					
	フレキシサービス A(モンデウス)	[ 15.22 ]	[ 79.68 ]	[ 94.90 ]	0:20	
3C	モンデウス サービス out					
	モンデウス リグループ in					
	モンデウス リグループ					
3D	モンデウス リグループ out					13:07
4	千光寺下		33.01	33.01	1:00	14:07
<b>SS4</b>	<b>千光寺 2</b>	<b>3.02</b>				<b>14:10</b>
	Refuel B(てづな石油)		6.18			
	Totals to Refuel	<b>15.22</b>	[ 73.88 ]	[ 89.10 ]		
5	牛牧下		34.62	37.64	1:10	15:20
<b>SS5</b>	<b>牛牧上り 2</b>	<b>6.15</b>				<b>15:23</b>
6	アルコピア		1.50	7.65	0:15	15:38
<b>SS6</b>	<b>アルコピア-無数河 2</b>	<b>6.05</b>				<b>15:41</b>
6A	モンデウス テクニカルゾーン in		4.75	10.80	0:20	16:01
6B	モンデウス サービス in					
	フレキシサービス B(モンデウス)	[ 15.22 ]	[ 73.88 ]	[ 89.10 ]	0:45	
6C	モンデウス サービス out					
	モンデウス パルクフェルメ in					
	※最終パルクフェルメ入場時刻					19:04
	<b>LEG1 TOTAL</b>	<b>30.44</b>	[ 153.56 ]	[ 184.00 ]		

Ver.1.0

LEG2 - Sunday 16 October						
TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First Car due
SS	場所	SS距離	リエゾン距離	総移動距離	基準所要時間	先頭車時刻
6D	モンデウス パルクフェルメ out					7:00
	モンデウス サービス in					
	サービス C(モンデウス)				0:15	
6E	モンデウス サービス out					7:15
7	横尾		27.94	27.94	0:50	8:05
<b>SS7</b>	<b>大山線 1</b>	<b>5.34</b>				<b>8:08</b>
	Refuel C(てづな石油)		7.03			
	Totals to Refuel	<b>17.54</b>	[ 69.66 ]	[ 87.20 ]		
8	あららぎ		31.51	36.85	1:10	9:18
<b>SS8</b>	<b>無数河-アルコピア 1</b>	<b>6.01</b>				<b>9:21</b>
9	牛牧上		1.40	7.41	0:15	9:36
<b>SS9</b>	<b>牛牧下り 1</b>	<b>6.18</b>				<b>9:39</b>
9A	モンデウス テクニカルゾーン in		16.75	22.93	0:40	10:19
9B	モンデウス サービス in					
	フレキシサービス D(モンデウス)	[ 17.53 ]	[ 77.60 ]	[ 95.13 ]	0:20	
9C	モンデウス サービス out					
	モンデウス リグループ in					
	モンデウス リグループ					
9D	モンデウス リグループ out					11:17
10	横尾		27.94	27.94	0:50	12:07
<b>SS10</b>	<b>大山線 2</b>	<b>5.34</b>				<b>12:10</b>
	Refuel D(てづな石油)		7.03			
	Totals to Refuel	<b>17.53</b>	[ 77.60 ]	[ 95.13 ]		
11	あららぎ		31.51	36.85	1:10	13:20
<b>SS11</b>	<b>無数河-アルコピア 2</b>	<b>6.01</b>				<b>13:23</b>
12	牛牧上		1.40	7.41	0:15	13:38
<b>SS12</b>	<b>牛牧下り 2</b>	<b>6.18</b>				<b>13:41</b>
12A	モンデウス テクニカルゾーン in		16.75	22.93	0:40	14:21
12B	モンデウス サービス in				0:03	14:24
	サービス E(モンデウス)	[ 17.53 ]	[ 77.60 ]	[ 95.13 ]	0:10	
12C	モンデウス サービス out / フィニッシュ					14:34
	セレモニアルフィニッシュ					14:40
	モンデウス パルクフェルメ in					
	<b>LEG2 TOTAL</b>	<b>35.06</b>	[ 155.20 ]	[ 190.26 ]		
	<b>Rally TOTAL</b>	<b>65.50</b>	[ 308.76 ]	[ 374.26 ]		

Ver.1.0

## 細則2 - レッキのスケジュール

レッキのスケジュールは、コミュニケーションに示す。

## 細則3 - CRO



丸山 尚人:電話番号はコミュニケーションにて示す

### アクションスケジュール(予定)

#### 10月14日(金)

競技会事務局	7:00 ~	21:00	モンデウス飛騨位山
レッキ受付	7:00 ~	7:30	モンデウス飛騨位山
公式車検	15:30 ~		モンデウス飛騨位山スキー場
第1回審査委員会	18:30 ~		モンデウス飛騨位山

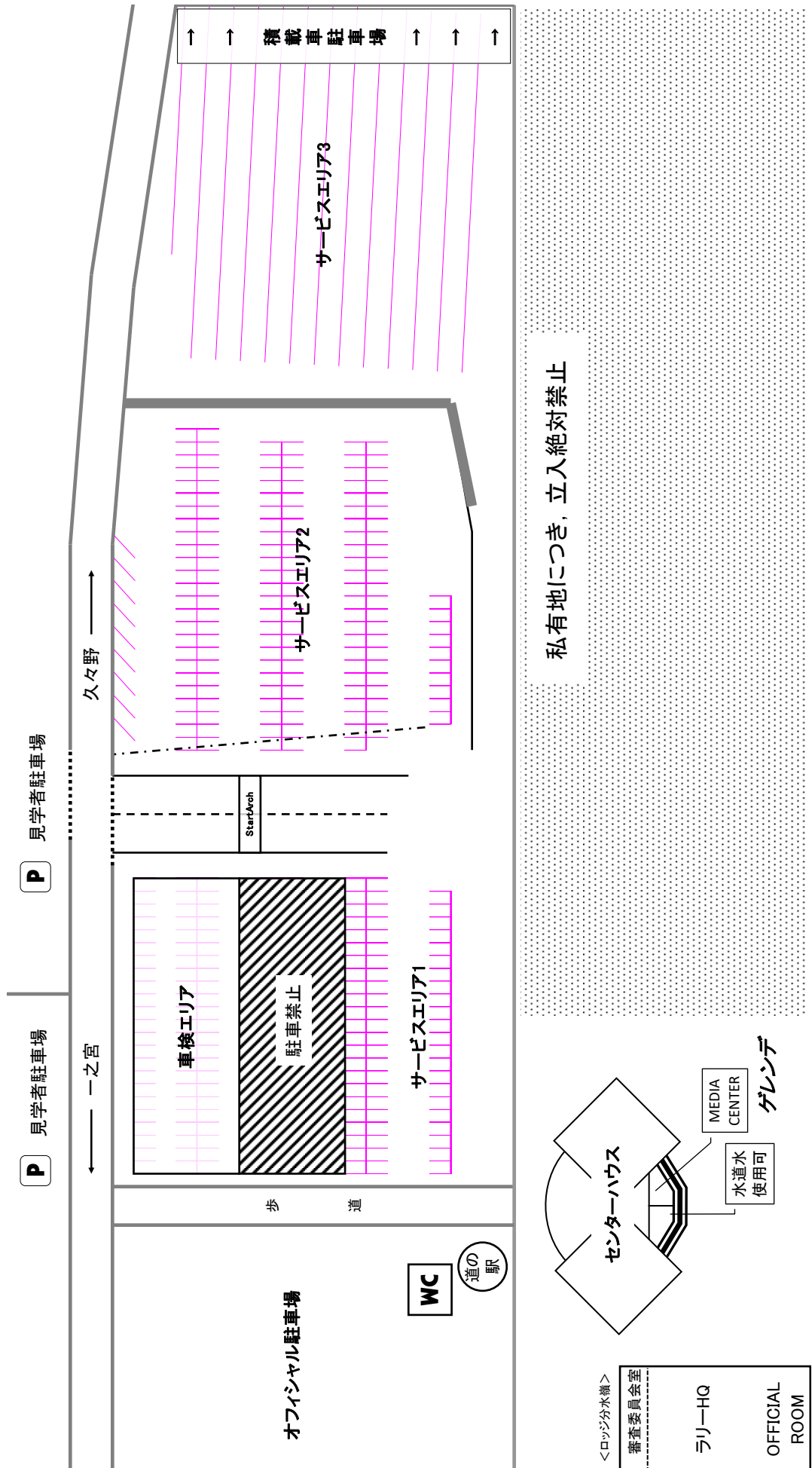
#### 10月15日(土)

LEG1 スタート	9:00 ~		モンデウス飛騨位山スキー場
サービス A	11:30 ~		モンデウス飛騨位山スキー場
サービス B・パルクフェルメ	15:40 ~		モンデウス飛騨位山スキー場

#### 10月16日(日)

パルクフェルメ	6:45 ~		モンデウス飛騨位山スキー場
サービス D	10:00 ~		モンデウス飛騨位山スキー場
サービス E・再車両検査	14:00 ~		モンデウス飛騨位山スキー場
暫定結果発表	16:00 ~		公式掲示板(モンデウス飛騨位山)

＜モンデウス飛騨位山スノーパーク周辺図＞



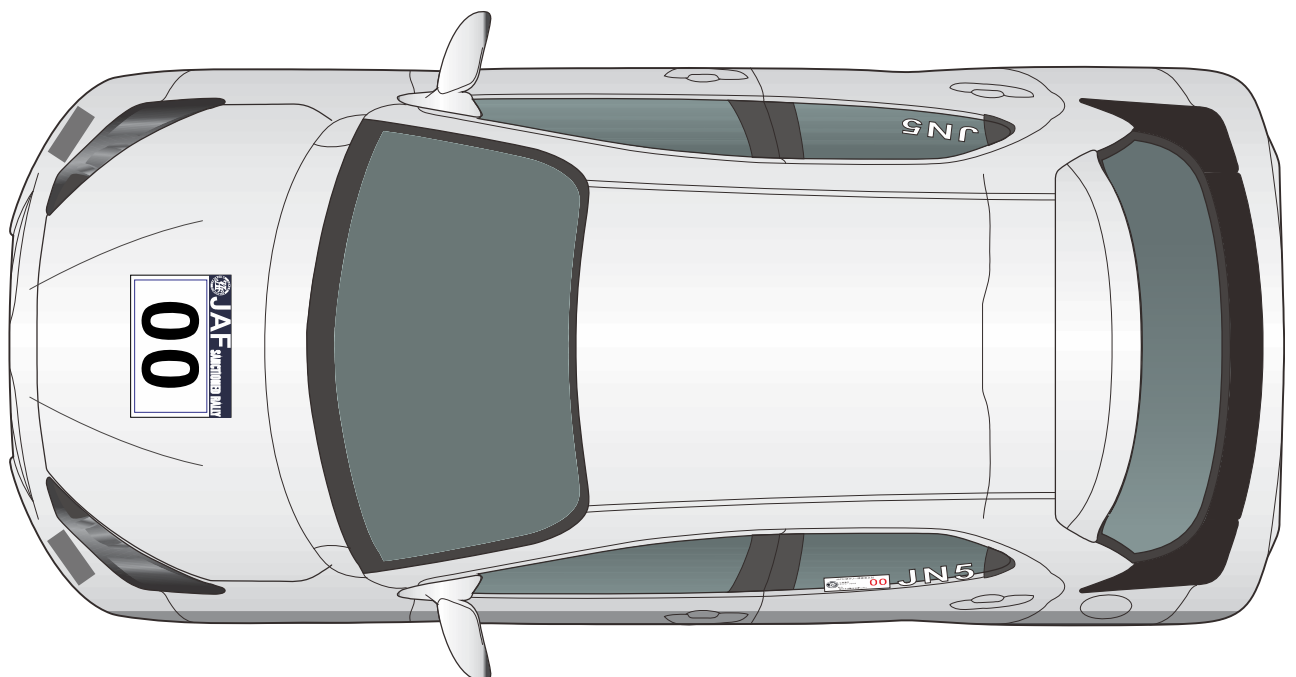
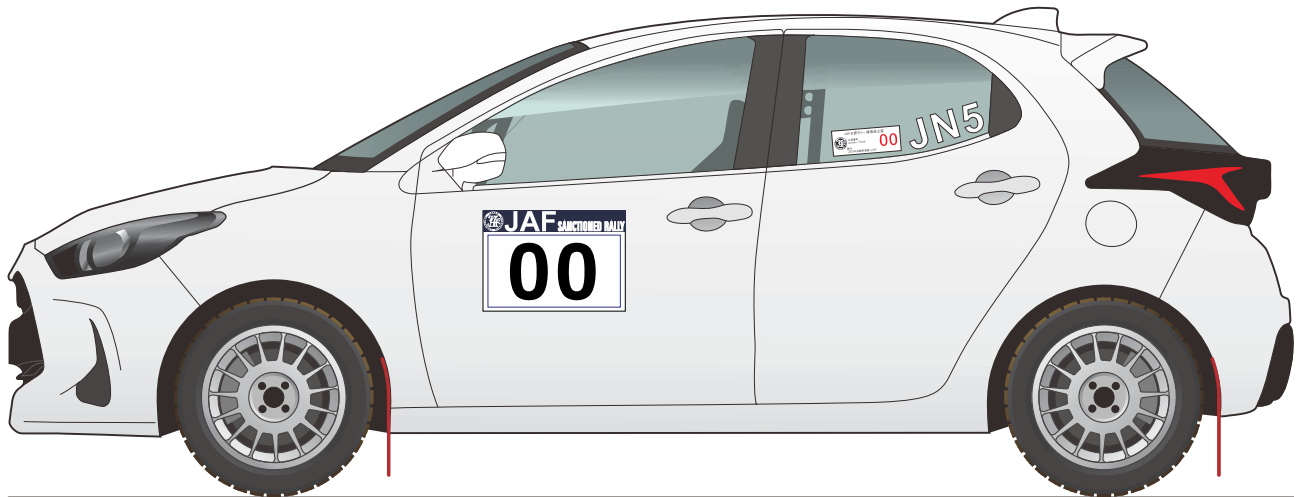
細則5 - 信号灯によるスタート手順

●●●●●○	スタート5秒前に5個の赤い信号が点灯
○●●●●○	スタート4秒前に4個の赤い信号が点灯
○○●●●○	スタート3秒前に3個の赤い信号が点灯
○○○●●○	スタート2秒前に2個の赤い信号が点灯
○○○○●○	スタート1秒前に1個の赤い信号が点灯
○○○○○●	スタート時には全ての赤い信号が消え、1個の緑の信号が点灯

信号灯故障の場合は、クルーに充分聞こえる大きな声で30秒-15秒-10秒-5秒 -4秒-3秒-2秒-1秒の順にカウントダウンする。

細則6 - ゼッケンの貼付場所

- JAF ゼッケン : 左右ドア及び、ボンネットの計3枚
- JAF 公認ラリー競技之証 : 左リアサイドウィンドウ
- クラス表記ステッカー : 左右リアサイドウィンドウ



#### 細則7 - スペシャルステージ

本競技会は、2022年統一規則第1条 スペシャルステージ 1)から 3)に該当しないスペシャルステージを設けない。

#### 細則8 - フレキシサービス

本競技会はサービス A, サービス B, 及びサービス D をフレキシサービスとし、手順は以下の通りとする。

1) フレキシサービス A, B, D 共通

TC-B(テクニカルゾーン退場/フレキシサービス入口)及び TC-C(フレキシサービス出口/リグループ入場)は、それぞれの車両ごとに任意のタイミングで通過することができる。

ただし、サービス滞在時間がアイテナリーで定められた所要時間(サービス A およびサービス D は 20 分、サービス B は 45 分)を超えた場合は、TC-C にて遅着のタイムペナルティーが課される。

2) フレキシサービス A 及び D の場合

TC-A(リグループ入場/テクニカルゾーン入口)において、TC-D(フレキシサービス後のリグループ退場)の通過時刻を与える。

なお TC-D は、TC-A で与えられた時刻に従ってチェックイン手順を行う事。

3) フレキシサービス B の場合:

アイテナリーに記載された最終パルクフェルメ入場時刻までにチェックインすること。